

教育研究上の目的

中国語学科は、高度な中国語運用能力を身に付けるとともに、中国の言語・社会・文化・歴史について深く専門的に学び、アジアの経済と文化交流の場で活躍できる人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、外国語学部中国語学科では、多様かつ体系的に構成された課程に基づき、実践的な中国語運用能力と中国の諸分野に関する知識の獲得を目指した専門教育を展開しつつ、初年次教育、キャリア教育、教養教育、言語教育を含む全学共通の基礎教育と有機的に関連させることにより、4年間の学習を通じて習得した能力と知識を活用して、日中およびアジア間の経済・文化交流の場で活躍し得る有為な人材を育成します。

本学科で展開する専門教育では、外国語学部における教育の特徴である、少人数教育、双方向型教育、習熟度別クラス編成によって、社会での活躍のために必須となる表現能力およびコミュニケーション能力を涵養します。また、中国の言語・社会・文化・歴史の各分野について優れた研究業績と豊富な教育経験を有する教員の指導により、ダイナミックに変化する世界の中で、日本と中国の関係を巨視的観点から捉えるための幅広い教養体系の構築を図ります。以上を教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学科のカリキュラム(全学共通の教養・外国語科目を含む)において、所定の卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる能力や知識・教養を身につけていると判断し、学士(文学)が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力
 - (1) 幅広い知識・教養を修得し、良識ある市民としての判断力を身につけている。
 - (2) 自立した市民として行動できる実践力を身につけている。
2. 国際的感性とコミュニケーション能力
 - (1) 世界の中での日本と中国という視点を持ち、両国間さらにはアジアの経済と文化交流の場で活躍できる素養を身につけている。
 - (2) 中国と日本の歴史的な深い関係を踏まえ、アジアの発展に資するコミュニケーション能力を身につけている。
3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能
 - (1) 中国の言語・社会・文化・歴史・経済のいずれか、もしくは複数の分野に関する専門的な知識を身につけている。
 - (2) 中国語の実践的な運用能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学科は、中国語の実践的な運用能力、中国に関連する専門知識、日本と中国、アジアに関連する教養を総合的に修得することができるように、以下に掲げる方針に基づき、教育課程を編成し、教育にあたっています。

1. 教育課程の編成・実施
 - (1) 中国語の運用能力を効率よく高めるために、1年次から体系立った中国語演習科目を提供します。
 - (2) 中国の言語・社会・文化・歴史・政治・経済に関連する専門知識を修得するために、基礎的方面として概説科目を1～2年次で、発展的方面として特講科目を3～4年次で提供します。
 - (3) 4年間を通じた中国語および中国に関する専門知識の総合的学習を企図して、卒業論文を必修科目として設置します。

- (4) 多様な学生の受け入れを考慮し、1年次から初習者クラス・既習者クラスを設け、2年次から言語コース・社会文化コースを設置します。
- (5) 幅広い教養を身につけるために、「FYS(初年次ゼミナール)」やキャリア教育を含む共通教養教育を組み込みます。

2. 教育の方法と評価

- (1) 中国語演習科目は少人数によるクラスを編成し、運用能力およびコミュニケーション能力の向上をはかります。
- (2) 概説・特講の講義科目は、中国およびアジアに関連する専門知識の修得過程において求められるレポートの作成および口頭による表現能力を涵養します。
- (3) 卒業論文においては、学科専任教員が開講する専門ゼミナールに3年次から所属し、指導教員の指導の下、情報の収集・整理・分析、調査報告、議論等の研究の基礎を養います。
- (4) 海外実習、スピーチコンテスト等、カリキュラム外のプログラムを活用し、カリキュラムによって獲得できる各能力をさらに積み上げる機会を提供します。
- (5) 単位制度の実質化を図るため、成績評価の方法及び基準を明確化し、成績評価を厳格化しています。成績評価を公正にするため、前後期各学期末に、成績判定会議を行うなど、教員間の合意形成をはかります。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

1. 大学教育によって培う能力

- (1) 本学科は、中国語の実践的な運用能力と中国およびアジアに関連する専門知識を身に付け、社会で求められるコミュニケーション能力と自己表現力を備え、日本と中国、さらにはアジアへと向かう広い視野を持ち、広く経済・文化交流の場で活躍する人材を育成します。

2. 本学科の求める入学者

- (1) 日本語、英語等の基礎学力を有し、中国語の学習と中国の言語・社会・文化・歴史等に関心を持っている人
- (2) 日本と中国、アジアの経済・文化交流の場で活躍したいと思っている人

3. 高校までの能力に対する評価(選抜方法)

- (1) 本学科では多様な入学試験を実施することにより、高等学校での学習を通じて大学での学びに必要な基礎学力を身につけ、また、実践的な中国語運用能力や中国に関する専門知識の修得とそれを活用した社会への貢献に強い関心を持ち、コミュニケーションに対する積極性と自主的行動力を有する学生を受け入れます。